



病気に強くて
育てやすく、とってもおいしい

キャベツ「新藍」

作型図	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
寒地 / 寒冷地				●	●	●	●	●	●	●	●	●
温暖地					●	●	●	●	●	●	●	●
暖地						●	●	●	●	●	●	●

● まきどき ● 収穫期
↑ 植え付け時期

※栽培方法・時期は目安です。適温でのタネまき、地域や条件に合わせた栽培をおすすめします。
※初心者向けの作型なので絵袋(小袋)の表記と異なることがあります。

おすすめアイテム

タネ / タネまき用培養土 / 土壌改良材 / ポリ鉢



収穫目安
定植後
約73日

しんらん
キャベツ 新藍

※タネ袋のデザインは変更することがあります。



スーパーミックスA®
(タネまき・育苗用土)



バイテク
バイオエース®
(3kg)



Yポット

基礎情報

分類	アブラナ科
用途	地植え
日当たり	日なた
耐暑性	中
収穫までの期間	定植後約73日

タネをまく前に 毎回確認! タネまき基本3チェック

☑ まき時期をチェック

秋まきは春まきに比べるとタネまきができる期間が短いものが多いです。早くまき過ぎると高温で発芽不良になったり、遅いと品種本来の特性が発揮できずよく育ちません。

☑ 土の厚さをチェック

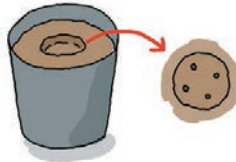
発芽するときに光を好むもの、嫌うもの、どちらでもいいものがあります。必ずチェックしてからまきましよう。

☑ 土が乾燥していないかチェック

タネまき後、発芽まではこまめに水やりしてください。発芽するまで乾燥は厳禁。ジョウロでの水やりでタネが流されそうな場合は霧吹きを使ってください。

手順 1 タネまき

直径3cm、深さ1cmの穴にタネ3~4粒を離してまき



5mmほど覆土し、たっぷり水やりする

ポリ鉢（直径9cm前後）に直径3cmで深さ1cmの穴を作り、タネ3~4粒をお互いに離してまきます。5mm程度の土をかけた後にたっぷりと水やりします。暑い時期は日差しを和らげるためにポリ鉢の上を寒冷紗あるいはよしずで覆います。ポリ鉢は通気性がよく根に優しい「**Yポット**」、土はタネまきと小さい苗の栽培に適した「**スーパーミックスA**」がおすすめです。

手順 2 発芽と間引き

間引き1回目



間引き2回目



3~5日ほどで発芽します。1週間ほどで2本立ちに間引きし、本葉2枚になるころに1本立ちにします。定植近くになったら苗を露地条件に慣れさせるため、寒冷紗を外します。

水やりは朝に行いますが、過湿に弱いので夕方には土の表面が乾く程度にして、がっちりとした苗を育てましょう。育苗期間は約35日（本葉は4~6枚）が目安です。

手順 3 土づくり

●2週間以上前

1. 苦土石灰をまく
2. 深く耕す



●1週間前

1. 堆肥をまく
2. 肥料をまく
3. 耕す



定植の2週間以上前に苦土石灰と堆肥を全面散布して耕します。

1週間前には、元肥を施して再度耕します。

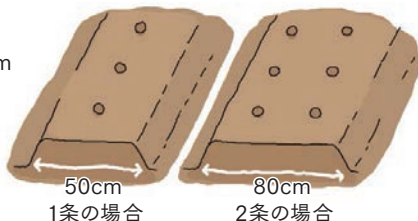
※堆肥におすすめ

「**バイテクバイオエース**」（土壌改良材）微生物の力で土をふかふかにします。

手順 4 定植・追肥

●畝立て

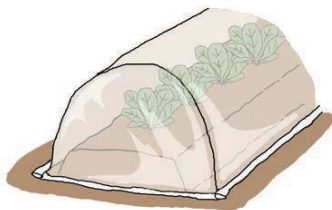
株間は35cm



定植は深植えを避けます。追肥は本葉10枚のころと結球初期の2回行います。追肥と同時に中耕と土寄せをします。

手順 5 病害虫

キャベツは害虫が多く、アオムシなどが付きやすいので見つけ次第捕殺します。特に結球が始まると害虫が付きやすくなるので注意しましょう。防虫ネットをトンネル状にかけると被害を抑えることができます。



手順 6 収穫

●収穫の方法



1. 手で押す

2. 包丁で芯を切断

収穫期は結構そろってしまうので、結球したものから若どりしながら収穫していきます。年内どりは割と長い間畑に置けます。収穫は球を手で横方向に押し倒すようにして、球と株元にある外葉との間の芯を包丁で切るとよいでしょう。

収穫後のキャベツの根は畑に置かずに片付けましょう。